

令和6（2024）年度実施川崎市立学校教員採用候補者選考試験における卒業・修了 予定者大学推薦実施要項

川崎市教育委員会

1 趣旨

この要項は、令和6年度実施川崎市立学校教員採用候補者選考試験において、大学及び大学院から卒業・修了予定者大学推薦の推薦を受けた者を対象として、第1次試験免除者を決定するために必要な事項を定める。

2 推薦の対象となる校種等・教科及び選考区分

推薦の対象となる校種等・教科は次に定めるものとし、選考区分は一般選考とする。

- (1) 小学校
- (2) 中学校/高等学校（国語）
- (3) 中学校/高等学校（数学）
- (4) 中学校/高等学校（理科）
- (5) 中学校/高等学校（音楽）
- (6) 中学校/高等学校（美術）
- (7) 中学校/高等学校（技術）
- (8) 中学校/高等学校（家庭）
- (9) 中学校/高等学校（英語）
- (10) 特別支援学校

3 対象大学等

次の（1）から（3）のうち、川崎市が適当であると認めた大学等

- (1) 小学校
次のア、イのいずれか又は両方に該当する大学及び大学院
ア 小学校一種又は専修普通免許状取得の課程認定を受けている大学及び大学院
イ 中学校一種又は専修普通免許状取得の課程認定を受けている大学及び大学院で、在学中に提携している大学で小学校教諭普通免許状取得に必要な科目及び単位を修得することができる大学及び大学院
- (2) 中学校/高等学校
推薦の対象となる教科の一種又は専修普通免許状取得の課程認定を受けている大学及び大学院
- (3) 特別支援学校
特別支援学校一種又は専修普通免許状取得の課程認定を受けている大学及び大学院

4 推薦基準

次の（1）から（5）までの条件をすべて満たすこと

- (1) 川崎市立学校教員を第一志望とし、合格した場合には川崎市立学校教員として就職する意思のある者で、令和6年度に大学を卒業又は大学院を修了の見込である者
- (2) 教員を志す者として、「自ら学ぶ姿勢を持ち、教員を目指して成長するために学び続けることができる」、「教育に対する使命感や熱意、子どもに対する責任感や深い愛情を持っている」、「適切な人権感覚及び社会人としての礼儀や規律を身に付けている」、「他者を受け入れ共感し、良好な人間関係づくりや協働することの大切さを理解している」など、教員として必要な資質・能力を備えていると、推薦する大学及び大学院が判断した者
- (3) 昭和39年4月2日以降に生まれた者
- (4) 校種等・教科ごとに必要となる以下の免許状を有する者又は令和7年3月31日までに取得見込の者
 - ア 小学校
小学校教諭普通免許状
 - イ 中学校
受験する教科の中学校教諭普通免許状
 - ウ 特別支援学校

次の（ア）、（イ）の両方の免許状

（ア）特別支援学校教諭普通免許状（視覚障害者教育領域のみの免許状は除く）又は聾学校若しくは養護学校教諭普通免許状

（イ）小学校教諭普通免許状又は中学校教諭普通免許状

（5）地方公務員法第16条及び学校教育法第9条による欠格事項に該当しない者

5 推薦人数

（1）小学校

人数制限を設けない。

（2）中学校/高等学校（国語、数学、理科、音楽、美術、技術、家庭及び英語）

令和5年度実施川崎市立学校教員採用候補者選考試験の「中学校/高等学校」各教科における在学生の受験者数に応じて、教科ごとに、次のとおりとする。

各教科における令和5年度実施試験学生受験者数	推薦人数
3名以上	2名まで
その他（2名以下又は新規）	1名まで

（3）特別支援学校

各大学における推薦人数は2名までとする。

（4）独立行政法人科学技術振興機構（現：国立研究開発法人科学技術振興機構）に採択された理数系教員（コアサイエンスティチャー：CST）養成プログラムを実施している大学において、当該大学から「コアサイエンスティチャー」の認定を受けている者（令和7（2025）年3月31日までに取得予定の者を含む。）を推薦する場合は、前記（1）～（3）とは別に、各大学で1名を推薦することができる。

（5）身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳又は療育手帳の交付を受けている者を推薦する場合は、（1）～（4）とは別に、各大学で1名を推薦することができる。

6 推薦の手続き

（1）提出書類（大学推薦に必要な書類）

ア 推薦書（様式1）

イ 成績証明書（任意の様式）

ウ 小論文（様式2）（被推薦者が手書をしたもの）

エ 5（5）の規定により身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳又は療育手帳の交付を受けている者1名を推薦する場合は、身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳又は療育手帳の写し

オ 推薦結果報告書（様式3）

※ 今年度から受験申込書の提出は不要です。被推薦者がインターネット申込を行います。

（2）申込方法

ア 大学が行う手続

各大学において前項の提出書類を取りまとめ、簡易書留又はレターパックプラスにより川崎市教育委員会事務局職員部教職員人事課あてに送付すること。なお、封筒又はレターパックプラスの表面に「大学推薦書類在中」と必ず朱書きすること。

※ 大学推薦による申込をした場合、大学推薦以外の手続による申込はできません。（複数の受験申込をした場合、すべての申込が無効となる場合があります。）

送付先：〒210-0004 川崎市川崎区宮本町6 明治安田生命川崎ビル2階
川崎市教育委員会事務局 職員部教職員人事課 採用・人材育成担当

イ 被推薦者が行う手続

各被推薦者において「オンライン手続かわさき（e-KAWASAKI）」を利用するインターネット申込により申込手続を行うこと。（大学に送付する資料に記載された専用アドレスから申し込むこと）

(3) 申込期限

令和6年5月9日(木)

(大学の提出書類については消印有効、被推薦者のインターネット申込については受信有効)

7 第1次試験免除者の選考等

(1) 選考

提出書類の内容を総合的に評価し、第1次試験免除者を選考する。

(2) 選考結果の通知

選考結果の通知は、被推薦者あての通知を同封し6月初旬に大学へ送付する。

(3) 第1次試験免除となった者への受験票等の送付

「オンライン手続かわさき(e-KAWASAKI)」により受験票を6月末日までに被推薦者へ送信する。また、7月末日までに第2次試験〔実技試験(該当する校種等・教科のみ)・面接試験〕の詳細を文書にて被推薦者に送付する。

(4) 第1次試験免除とならなかった者の取り扱い

令和6年度実施川崎市立学校教員採用候補者選考試験の一般選考の受験者として取り扱い、別途、本人に「オンライン手続かわさき(e-KAWASAKI)」により受験票を6月末日までに送付する。

8 大学推薦による受験等

(1) 第1次試験

第1次試験免除とならなかった者は、一般選考の第1次試験の対象者とする。

ア 試験日

7月7日(日)

イ 試験会場(予定)

試験会場は次のとおりとする

※ 中学校/高等学校「英語」は川崎会場での受験とする。

(ア) 川崎会場

川崎市立橘高等学校

住所:川崎市中原区中丸子562

(イ) 愛知会場

愛知大学 名古屋キャンパス

住所:愛知県名古屋市中村区平池町4-60-6

(ウ) 兵庫会場

関西国際大学 尼崎キャンパス

住所:兵庫県尼崎市潮江1-3-23

(エ) 宮城会場

秀英予備校 仙台本部校

住所:宮城県仙台市青葉区堤通雨宮町3-23

(2) 第2次試験

第1次試験免除となった者は、次のとおり第2次試験を受験する。

ア 小論文B

(ア) 試験日

7月7日(日)

※第1次試験日に「小論文B」(第2次試験扱い)を受験する。

(イ) 試験会場

対象となる全ての校種等・教科で、川崎会場(川崎市立川崎高等学校及び川崎市立川崎高等学校附属中学校 住所:川崎市川崎区中島3-3-1)、8(1)イに記載する愛知会場、兵庫会場又は宮城会場のいずれかを希望することができる。

イ 実技試験

音楽、美術、英語の申込者については、次のとおり実技試験を受験する。

(ア) 試験日

8月6日(火)

(イ) 試験会場(予定)

川崎市立川崎高等学校及び川崎市立川崎高等学校附属中学校

住所: 川崎市川崎区中島3-3-1

※ 川崎高等学校と川崎高等学校附属中学校は同じ敷地にあります。

※ 神奈川県立川崎高等学校とは異なります。

ウ 面接試験

(ア) 試験日

a 小学校

8月13日(火)～8月23日(金)のうち教育委員会が指定する1日

b 中学校/高等学校・特別支援学校

8月26日(月)～9月20日(金)のうち教育委員会が指定する1日

※ 面接試験は、諸事情により、日程、期間等が変更となる場合がある。

(イ) 試験会場(予定)

a 小学校

川崎市立小杉小学校

住所: 川崎市中原区小杉町2-295-1

b 中学校/高等学校・特別支援学校

川崎市教育会館

住所: 川崎市中原区下沼部1709-4

エ 校種等・教科ごとの試験項目 (○が付いている試験項目を受験)

校種等・教科		試験項目			
		実技試験	場面指導	個人面接	小論文B (第1次試験日に実施)
小学校		—	○	○	○
中学校/ 高等学校	国語・数学・理科・ 技術・家庭	—	○	○	○
	音楽・美術・英語	○	○	○	○
特別支援学校		—	○	○	○

オ 試験内容

後日公表する受験案内に記載のとおりとする。

カ 結果通知

第2次試験の選考結果は、大学及び被推薦者へ令和6年10月16日(水)(予定)に文書にて通知するとともに川崎市教育委員会のホームページに第2次試験合格者の受験番号を掲載する。

また、合格者については、令和7年度川崎市立学校教員採用候補者名簿に登載する。

9 その他

(1) 第1次試験免除となり最終合格者となった者は、推薦を受けた大学の卒業後又は大学院の修了後速やかに卒業証明書又は修了証明書を提出するものとする。

(2) 第1次試験免除となり最終合格者となった者が、推薦を受けた大学を卒業又は大学院を修了することが出来なかった場合には、最終合格者となっても名簿登載は取り消され、その一切の権利を失う。

(3) 身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳又は療育手帳の写しを提出した者については、「特別選考V」と同等の配慮を行うものとする。

1 目的

「令和6年度実施川崎市立学校教員採用候補者選考試験における卒業・修了予定者大学推薦実施要項」及び「令和6年度実施川崎市立学校教員採用候補者選考試験における大学3年次在籍者推薦実施要項」（以下「大学推薦実施要項」という。）に基づき、第1次試験免除者の選考に際し必要な事項を定める。

2 基本方針

選考対象者は、大学推薦実施要項の推薦基準を満たし、各大学における選考を経て推薦された人材であることから、「第1次試験免除者」の適否については、原則として、提出書類の内容の総合評価において、一定基準に達した者を「適」とする。

3 評価項目

- (1) 推薦書
- (2) 成績証明書
- (3) 小論文

4 評価項目の取扱

(1) 推薦書

記載事項を次のとおり評価し、アとイの評点の合計点を推薦書の評点とする。

ア 人柄、性格、学業状況、教員としての適性・意欲など

記載内容を3段階（A 10点・B 7点・C 5点）で複数の評価者により評価し、平均点を評点とする。

点数	評価基準
10点	人柄、性格、学業状況から、教員としての適性・意欲が強く感じられる
7点	人柄、性格、学業状況から、教員としての適性・意欲が感じられる
5点	人柄、性格、学業状況から、教員としての適性・意欲がやや感じられる

イ 在学中の特筆すべき経験・活動歴

記載内容を3段階（A 10点・B 7点・C 5点）で複数の評価者により評価し、平均点を評点とする。

点数	評価基準
10点	特筆すべき経験・活動歴に、リーダー性等、教職に寄与すると考えられる顕著な内容が認められる
7点	特筆すべき経験・活動歴が認められる
5点	特筆すべき経験・活動歴がやや認められる

(2) 成績証明書

修得した科目の成績を、秀・優（S・A）5点、良（B）3点、可（C）2点、に換算し、その数値に単位数を乗じ、その総和を全修得単位数で除した数値を評点とする。

(3) 小論文

次の4つの評価の観点の合計100点満点で、複数の評価者により評価し、平均点を評点とする。

評価の観点	良い	やや良い	普通	やや劣る	劣る
【テーマの把握】 ・テーマを深く理解しているか。 ・テーマに関する知識や見識はあるか。	20	16	12	8	4
【表現力】 ・わかりやすく適切な表現をしているか。 ・内容に具体性があるか。	20	16	12	8	4
【論文の構成】 ・説得力のある構成になっているか。 ・テーマについて自分の考えを述べているか。	25	20	15	10	5
【教員としての資質】 ・教員としての適性を感じられるか。	35	28	21	14	7
合計	100	80	60	40	20

5 総合評価得点の算出

各評価項目の評点を次の基準により換算して得られる合計点を総合評価得点とする。

評価項目	評点 (満点)	換算方法	換算点 (満点)
推薦書	20点	$\times 3/2$	30点
成績証明書	5点	$\times 8$	40点
小論文	100点	$\times 3/10$	30点

6 「適」の判定基準

総合評価得点が60点を超えるものについて、原則として「適」と判定する。ただし、募集人員及び応募状況により大学推薦選考対象者が第1次試験免除者の予定数を超えた場合、総合評価得点の上位者から必要な人数を「適」と判定することがある。

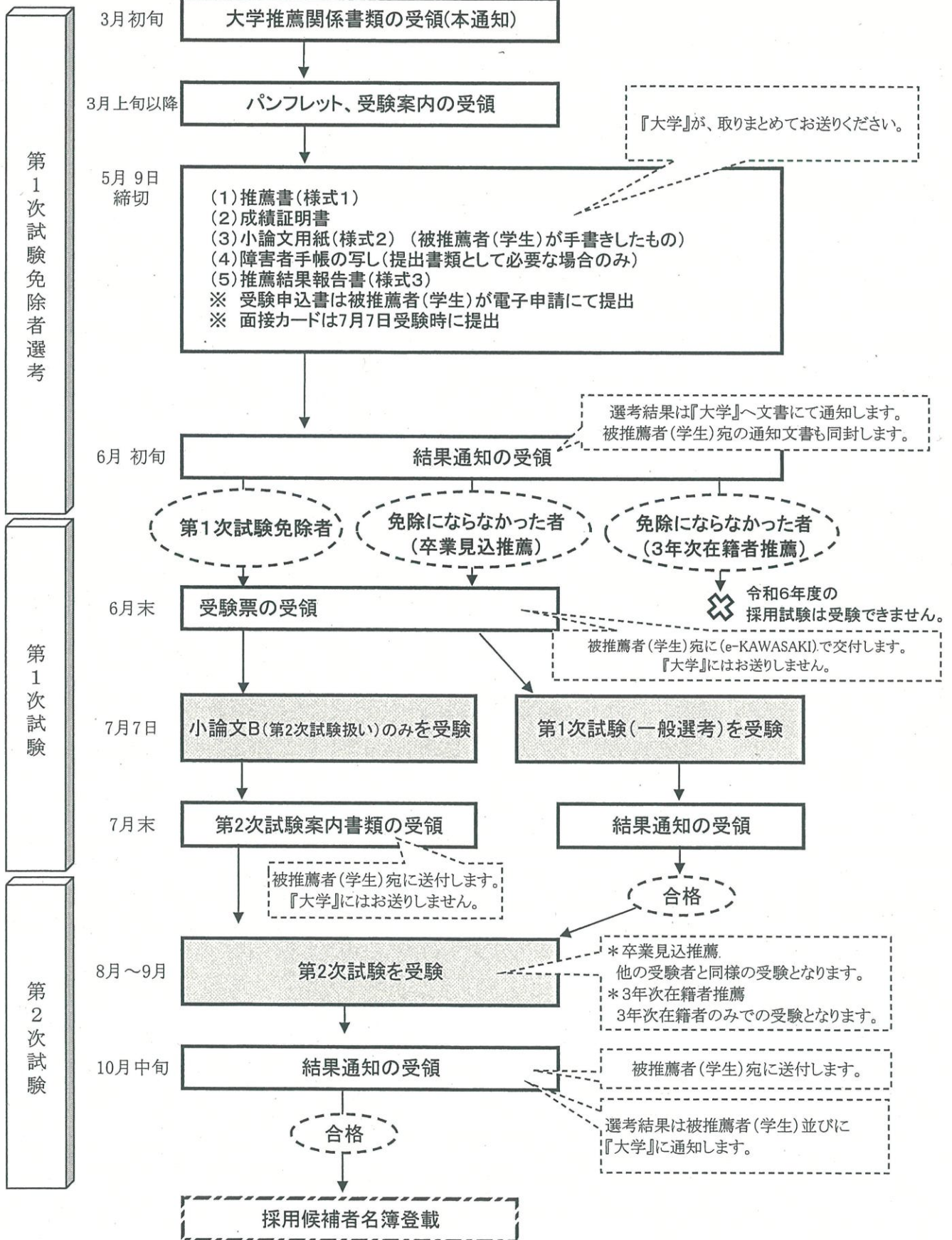
7 その他

「適」の判定を受けた者（「適」の判定を受けた者が同一大学（大学院を含む）において3名以上いる場合には、そのうちの2名以上の者）が第2次試験の個人面接又は場面指導（大学3年次在籍者推薦においては集団討論）において評定平均2.0を下回った場合、当該大学には原則として次年度に限り推薦を求めないものとする。

事務手続の流れ

(令和6(2024)年度実施 川崎市立学校教員採用候補者選考試験大学推薦・3年次在籍者推薦)

川崎市教育委員会事務局職員部
教職員人事課(採用・人材育成担当)



重要

本通知は推薦の対象者（4年生・大学院生）
に配布してください。コピー可

卒業・修了予定者における電子申請について (今年度からの変更点)



今回から、被推薦者（学生）は本人がインターネット申込で手続きしていただきます（郵送申請は不可）。

被推薦者向けの申込フォームは川崎市ホームページに掲載されている「電子申請による教員採用試験申込」とは異なります。また、大学3年次在籍者向けの申請フォームとも異なりますので、申請は必ず下記の二次元コード又はURLから行ってください。

複数の受験申込をした場合、すべての申込が無効となる場合があります。

また、複数の校種等・教科、選考区分等の選択、申込が受理された後の変更はできません。

インターネット申込（電子申請）

申込方法	<p>「川崎市立学校教員採用候補者選考試験」のホームページから、「<u>大学推薦対象向け電子申請による教員採用試験申込</u>」に進んで、申込手順の方法をよく確認してから、申請手続きを行ってください。</p> <p>※ 「川崎市ホームページ」から進むには ⇒ 「川崎市教育委員会」⇒ 「相談・手続き・採用・募集」⇒ 「採用・募集情報」⇒ 「川崎市立学校教員採用候補者選考試験」⇒ 「教員採用試験概要」⇒ 「大学推薦対象向け電子申請による教員採用試験申込」 (URL : https://www.city.kawasaki.jp/880/page/0000158979.html)</p>  <p>(1) 電子申請の利用者登録 「オンライン手続かわさき (e-KAWASAKI)」を利用するため利用者登録を行います。 ・利用者登録は、申込受付期間の前でも可能です。 ・登録した「メールアドレス」と「パスワード」は忘れないよう控えておいてください。</p> <p>(2) 受験申込 「オンライン手続かわさき (e-KAWASAKI)」を利用して、受験申込を行います。 ・次に、申請手続きが完了し、最後に「申込番号」が表示されることを確認し、忘れないように控えておいてください。 ・「オンライン手続かわさき (e-KAWASAKI)」による申込後、到達メールが送信されます。1時間経過しても到達メールが届かない場合は、電話で教職員人事課まで御連絡ください。※ <u>顔写真(縦4:横3)のデータ添付が必要となります。</u></p>  <p>申請はこの二次元コード又はURLのみ有効です。 4月5日から入力できます。</p> <p>申請用二次元コード (URL : https://lgpos.task-asp.net/cu/141305/ea/residents/procedures/apply/3e64add8-7747-42a6-8450-d75a7ea6e753/start)</p>
受付期間	<p>令和6(2024)年4月5日(金)～令和6(2024)年5月9日(木) (受信有効)</p> <p>※ 受付期間終了後の申込は受理することができませんので注意してください。 ※ 申込締切日はアクセスが集中し、サイトにつながらない、又は表示に時間がかかる等の現象が起こることがありますので、申請手続きは期限に余裕をもって行ってください。 ※ 使用するパソコンや通信回線の障害等のトラブルについては、一切責任を負いません。</p>
受験票	<p>受験票は6月下旬(予定)に「オンライン手続かわさき (e-KAWASAKI)」のマイページからダウンロードできるようになります。ダウンロードができるようになりましたら、登録のメールにお知らせします。 受験票を印刷し、第1次試験当日に必ず持参してください。</p>

(注) インターネットに接続可能なパソコン等で申請してください。

「オンライン手続かわさき (e-KAWASAKI)」は、入力時間に制限(60分)があります。あらかじめ、入力項目(教員免許、履歴)等を確認してから入力してください。

入力の制限時間を超えると強制終了となり、はじめから入力しなおす必要があります。途中保存しておく、その続きから入力できます。

(様式1)

川崎市教育委員会 教育長 様

令和6(2024)年 月 日

大学名

代表者名

印

推薦書

令和6(2024)年度実施川崎市立学校教員採用候補者選考試験において、本大学に在学中の次の学生を推薦いたします。

1 推薦者氏名・生年月日(年齢)

氏名 _____ 昭和・平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日 _____ 歳
(令和7(2025)年4月1日現在)

2 学部及び専攻

3 「コアサイエンティチャー」の認定の有無(予定者を含む)

有 ・ 無

4 第1次試験免除後の小論文B(2次試験扱い)希望受験会場

川崎会場 ・ 愛知会場 ・ 兵庫会場 ・ 宮城会場

※川崎会場は川崎市立川崎高等学校及び川崎市立川崎高等学校附属中学校のみとなります。

※受験会場は受験者数に応じて決定されます。ただし、英語受験者については第1次試験が免除とならなかった場合、川崎会場が受験会場となります。

5 推薦理由

(1)人柄、性格、学業状況、教員としての適性・意欲など

(2)在学中の特筆すべき経験・活動歴

(3)成績評価値

	秀・優 (S・A) ①	良 (B) ②	可 (C) ③	合計習得単位数 (①+②+③)
修得単位数				
合計得点	※	※	※	※

成績評価値

※

※の部分は記載しないでください。

* 修得した科目の成績を、秀・優 (S・A) 5点、良 (B) 3点、可 (C) 2点に換算し、その数値に単位数を乗じその総和を全修得単位数で除した数値 (小数点以下第3位を四捨五入) を評価値とする。

記載責任者名

推薦を受ける者との関係
(指導教授・キャリア支援担当など)
